

平成28年4月20更新

H28残雪期の特徴

至仏山は、例年に比べ非常に雪が少ない状況です。

【全域が植生保護区域】

○至仏山の周辺は、全域が植生保護区域です
(国立公園特別保護地区、群馬県自然環境保全地域)

【残雪の薄い場所には立ち入らない】

○残雪の薄くなったところや、地面の露出した部分には、「乗らない・立ち入らない」ようお願いいたします。

【足跡やシュプールを安易に信じない】

○悪天候・視界不良時は行動を控えるとともに、先行者の足跡やシュプールがあっても安易に信じず、ルート判断は自分の判断・責任で行いましょう。

【携帯電話は「通じない」】

○至仏山周辺は、概ね携帯電話は通じませんので、安全等には十分注意してください。

【携帯トイレを持参しましょう】

○至仏山には、トイレがありませんので、携帯トイレを持参しましょう。

【GW以後の残雪期は閉鎖】

○至仏山登山道は、残雪期の植生保護のため、毎年5月7日～6月30日まで閉鎖となります。

凡例

	登山ルート(夏山登山道)
	重点植生保護区域 植生保護のため、立ち入らない
	今シーズン滑走不可区域 少雪及び危険のため、立ち入らない
	立入可能区域 (残雪あり、ルート誤り注意)

このチラシの内容は残雪状況の変化に応じて、予告なく変更することがあります。最新情報を御確認ください。

至仏山保全対策会議
(事務局)尾瀬保護財団
TEL:027-220-4431
平日8:30～17:15

<https://www.oze-fnd.or.jp/archives/62812/>

平成28年残雪期
4月22日～5月6日
至仏山入山の皆様へ

植生保護のため
立ち入らないで
ください

東面登山道は、
登り専用です。

重点植生
保護区域
高天ヶ原

今シーズン
滑走不可区域

川上川を右岸側へ渡る橋や
スノーブリッジ等、雪上で沢を
渡れる場所は、一切ありません。
天候により、ひざ上まで増水するため
渡渉はその場での判断が必要です。

ワル沢やオヤマ沢等の沢筋は、
雪の下を水が流れているため非常
に危険です。

滑走可能ルート
(H28.4.15調査時点)

鳩待峠～オヤマ沢田代
には、ルート上に
赤いリボンの目印あり

稜線より西側の
ハイマツ帯に入らないこと

オヤマ沢田代から悪沢岳方面へ迷いやすい。
赤いリボンの目印に沿って行動して、
鳩待峠方面へ下るルートを見失わないよう注意。

国土地理院 標準地図(25000)

国土地理院 標準地図(25000)